

コンディショニング機器による 運動器疾患へのアプローチ

セミナー概要

- 演題** 「イーポレーションPRの超音波療法との比較検討結果と
レセルボディとイーポレーションPRの当科での使用方法紹介」
- 日時** 2018/9/15 土曜日 16:00~18:00 **定員** 50名 **参加費** 無料 **会場** 兵庫県柔道整復師会館5F多目的ホール
(神戸市兵庫区塚本通2-2-25)
- ▶ 第1部 16:00~17:00 杉本先生による講演
 - ▶ 第2部 17:00~18:00 デモンストレーション

要旨



医療法人貴島会 ダイナミックスポーツ
医学研究所 室長

講師

杉本 拓也 先生

当科は2015年より、イーポレーションPR(以下PR)を使用している。また2016年には、PRの有有用性調査として、超音波療法(以下超音波)と比較検討した。対象は肩こりの自覚症状を有する成人女性30名であった。調査項目は血液酸素動態、頸部の関節可動域(以下ROM)、肩こりの自覚症状(以下VAS)とした。結果は、血液酸素動態、ROM、VASのすべての項目で超音波と同等の結果を得た。以上のことから肩こりを有する者に対して、非常に有用な機器であることが示唆された。

PRの当科での使用法は、ROM制限がある症例に多く使用している。特に肩関節周囲炎や肩関節脱臼術後のROM制限や足関節捻挫後の背屈制限がある症例に有効であった。

他方、レセルボディは筋緊張が高い症例に対して有効であり、筋膜リリースの機器として優れている。具体的には筋々膜性腰痛症(非特異的腰痛)の腰部筋緊張の軽減、ハムストリングスの肉離れ後のタイトネス軽減に有効であった。

どちらの機器も使用後の患者からは、「楽になった」「痛みがましになった」など効果を実感した感想が多い。

PR、レセルボディは運動器疾患に有用な機器であり、価格も超音波と比較しコストパフォーマンスが高く、導入しやすい機器であると考えている。

本セミナーでは上述したPRと超音波との比較検討した内容の詳細と、当科での両機器の使用法を紹介する。



セミナーご参加申込書 ※9/10(月)申込み締切

フリガナ		フリガナ	
貴院名		代表者名	
TEL		その他の 参加者	
E-mail			
ホームページURL			
住所			

● ご参加申込は「兵庫県柔道整復師協同組合」まで **FAX : 0120-576-466 / 078-576-4666**

● セミナー内容に関するお問い合わせは「株式会社ユニッシュ」まで **TEL : 06-4707-7100**